

結核は昔ヤング  
今シルバーの  
時代です

昔、結核は若い世代の病気でしたが、現在では、若い頃に結核に感染し、体の抵抗力（免疫力）が弱まってきた高齢者が発症しやすく、神戸市の年齢別で見ると70歳以上の患者が約6割を占めています。結核は、昔の病気ではありません。他都市と比べて患者数の多い神戸市では毎年新たに約300人が結核の治療を始めています。健康でも年に1回は胸部X線検査を受けましょう。

**早期発見がポイント!!!**  
肺結核の初期症状はかぜに似ています。次のような症状が2週間以上続く時は要注意。  
特に高齢者はだるさが続いたり、急にやせて弱って来たら結核の可能性もあります。  
心当たりのある時は早めに受診し



ましよう。  
せき、たんが長引くときは、マスクを着けて医療機関を受診しましょう。  
出典：神戸市保健所発行「結核ハンドブック」より

のびのびプールお礼

子供達の顔を思い浮かべると！大変申し訳ない思いで一杯になりましたが、3回目からの開放を中止させて頂きました。命に危険が及ぶ暑さと、その暑さにより、水質管理が不可能となりました。又、町内3団体共催の救命士講習も大雨のため中止させて頂きました。

お世話頂きました皆様、子供達を見守って頂いている町の皆様、ありがとうございます。  
中西晴美



絵 荒堀みち子

俳句

盆花の溢るる店に人あふる  
田の風に乗り来る先祖盆用意  
年老いし母は今年も墓掃除  
琴策の音も涼しき坐禅堂  
池の隅静かに映ゆる蓮の花  
盆用意お供並べ僧を待つ  
大いなる比叡の裾野や蓮開く  
盆支度亡母に教わり子に継ぎて  
床の軸掛け替えてより盆用意

スポーツ情報

- 8/18 JAふれあいボウリング大会  
エリアデュー三田ボウリングC  
優勝 類家 幹雄さん  
準優勝 久古 克己さん  
第3位 類家 清美さん

行事予定

- 9/1 やまびこ会定例会
- 9/2 消防&防コミ合同訓練
- 9/3 光山だより編集委員会  
民生児童委員協議会
- 9/12 婦人会定例役員会
- 9/13 ふれあい昼食会
- 9/19 ふれあい喫茶全体会
- 9/20 地域事務局プロジェクト長会議
- 9/22 自治連合会定例役員会
- 9/25 大沢の里ふれあい運動会  
光山だより印刷

善意の寄託  
中大沢橋本悦子様より善意のご寄付をいただきました  
ありがとうございます  
大沢町社会福祉協議会

資源集団回収ご協力お願い  
9月25日 夕 午前8時までに  
各収集場所へ 婦人会

町民の動き

- 5/28 上大沢 大家 裕さん  
うぶごえ 聡ちゃんを  
7/13 日西原 沖本 涼さん  
みなと 湊ちゃんを  
おくやみ  
7/29 上大沢 水本クラエさん 88歳

光山だより

7月から続く酷暑のため、一時開催も危ぶまれましたが、去る8月5日、東京や名古屋等県外24チームを含む99チームの参加により、盛大に且つ、無事に開催することができました。これも一重に地元大沢体協をはじめ、自治連合会、参加チームの応援などの賜物と心から感謝申し上げます。

また後援頂いた、神戸みのりの公社、北区役所・大沢連絡所、麒麟麦酒㈱、神戸酒心館、JA兵庫六甲、ホテルフールツフラワー、サンテレビジョンほか、各種団体・来賓様からの御厚志など様々な御支援を頂き重ねて御礼申し上げます  
本大会も回を重ねること20回、非常に多くのチーム（愛好家）に支えられ、北区の夏の恒例行事として定着

第20回どろんこバレーボール大会を終えて



9月号発行  
大沢ふれあいのまちづくり協議会 広報部  
http://www.ozo.jp

7月から続く酷暑のため、一時開催も危ぶまれましたが、去る8月5日、東京や名古屋等県外24チームを含む99チームの参加により、盛大に且つ、無事に開催することができました。これも一重に地元大沢体協をはじめ、自治連合会、参加チームの応援などの賜物と心から感謝申し上げます。

さる8月15日（水）、フールツ・フラワーパークのイベント広場に於いて、恒例の大沢盆踊り大会が、寺崎副市長様、北区担当、大寺北区長様はじめ多数のご来賓をお迎えして盛大に開催されました。  
例年と同様、大沢児童館、大沢幸の会による銭太鼓のオープニングショーが始まりましたが、今年には児童館のメンバーが増え、大変迫力を感じました。  
本命の盆踊りも、大沢音頭、きたきた音頭、河内音頭のほか新曲ダンシングヒーローなども加わり、ホテル宿泊客、町外の方々を含め多くの人々の踊りの輪、大勢の見物者で賑わいました。  
この他カラオケ大会上位入賞者3名による歌謡ショー、婦人会有志による神戸みなと音頭が花を添



え、最後のラッキー抽選会で一段と盛り上がりました。  
住民同士の絆をより強いものに、町内で生まれ育った子供たちの故郷意識を高めるため、来年の盆踊りもより一層盛り上げて行きたいと思えます。  
末筆ながら、ご尽力いただきました、団体・企業ならびに役員の皆様方に心より感謝申し上げます。  
文責：池本喜和



学校園PJ

1学期が終了したこの時期、児童館を含む学校園の現状と今後の取組について、教育委員会並びにこども家庭局からの出席のもと、表記の会議が行われました。児童・生徒数の増加に対して、学校施設の充実 配膳室・多目的室増設や児童館における職員増員策など官民協力のもと進めてまいります。新たな住民を迎える



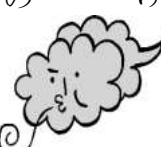
この度日西原地区に、若い2家族の住民を迎えることになりました。2家族共に新規就農者であり、農地保全対策と定住促進対策とがうまく連携できた結果であり、今後このような取り組みが、環境保全と過疎化対策の両面に良い効果が期待できそうです。新住民の詳細につきましては、次号にてお知らせできればと思います。

いちごキャンディー 大沢町で復活させた神戸1号 神戸ルージュ、昨今の甘味重視の生食用にはない酸味を活かした加工品として、大沢いちごキャンディーが開発されました。どろんこバレーボール会場でも大好評で即完売。道の駅での地域限定品としても期待されます。大沢町特産の農産物も素材の販売だけでなく、就労環境と収入の安定を目指した取り組みとして、加工品製造所の設立なども検討していかねばならないようです。



久元市長がため池視察

兵庫県下でも有数のため池が存在する大沢町ですが、昨今の集中豪雨による堰堤崩壊など、想定外の災害が危惧されています。改修や維持管理における各地域の現状を防災面から視察するため、8月21日来町されました。今後、行政面での支援体制などに活かして頂けると思っています。同時に、大沢町で取り組んでいる生物多様性保全活動についても説明する時間を頂き、保全活動と盗掘防止対策において御意見を頂戴いたしました。今後の活動に活かしていきたいと思えます。



コミユニティバス 試験運行のご案内 大沢町も人口1000人にも満たず、人口の減少に歯止めがかかりません。その中で80歳以上の高齢者が占める率がなんと18%となりました。70歳以上は30%大沢町として、地域住民、特に高齢者の生活の足を何とか守りたい思いで、過去に2回色々な規制の中でコミユニティバスの試験運行を実施してきました。この度も別紙のパンフレットのとおり、試験運行をさせていただきます。以前は規制の為にイオン行き限定でしたが、この度は岡場駅、済生会病院へ利用の有無調査をしながら、6カ月間の無償テスト運行を実施いたします。利用の為に事前には簡単な聴き取り調査、利用登録、前日までに電話予約等が要りますが、是非ご利用ください。この期間は、ふれあい昼食、ふれあい喫茶送迎にも対応させていただきます。この度の実施は、道の駅ファームサーカスのバス無償提供による試験運行となります。

ふれあいユメづくり 田んぼの教室 生き物観察とかかし作り 都市との交流：大沢体験の場づくり”事業の一つとして、大沢町地域事務局とJA兵庫六甲の共催で、今年2回目の「ふれあいユメづくりひろば&田んぼの教室」“生き物観察とかかし作り”編を、8月18日(土)に9家族30名の参加者を得て、上大沢ふれあい会館と周辺の圃場で開催しました。生き物観察では、地元で捕れた魚等を入れた水槽を用意し、地元講師から大沢地域の生き物等の話を聞き、田植えを行った圃場周辺で観察を行いました。中でも参加の子ども達は、アマガエルに興味があるのか、手のひらに乗せ観察をしているのが印象的でした。

その後、親子そろってグループでかかし作り。持参した古着等で工夫を凝らした個性豊かなかかしを作り、田植えを行った圃場周辺に設置しました。次回の稲刈りに、圃場を守ってくれたかかしに再び出会うことを楽しみに、今回のプログラムを終了しました。都市との交流PJ 大家重明



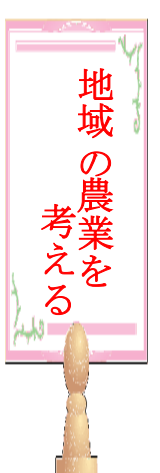
学校園と地域合同による大沢の里ふれあい運動会も今回で7回目となり、長尾校区を含めた地区合同も2年目を迎えます。昨年より運動場いっぱいの賑やかさを取り戻したのもとなりました。

今年の運動会は、時間的制約のある中、午前中は学校園、午後は地域と分けて演技が行われます。6地区体制で地域や先生・生徒が地区ごと一丸となり、対抗競技等ハッスルしていただきたいと思います。

しかしながら、お互いの良さを取り入れやってきました合同開催も、人数が増えることによる課題も提起されております。また台風や今年の猛暑による影響も懸念されます。

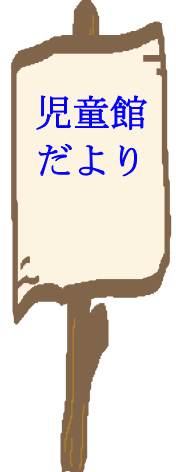
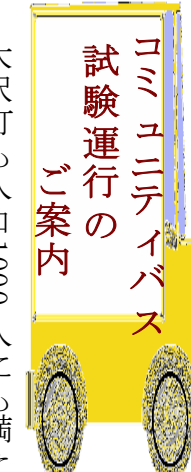
農家にとつては、農繁期の真ただ中大事な一日ですが、自ら楽しみ、健康とコミュニケーションを図る場として、子ども達の成長を応援しようではありませんか。またラッキーカード抽選

もスタイルを変えて行います。乞うご期待ください。 交教部 向井善裕



東播用水整備と土地改良事業に伴い補助の条件として、担い手への農地集約や作業の合理化が言われてきました。当地区では、平成17年に上大沢営農部会を立ち上げ、水稻全面受託3畝、大豆1畝から始めました。当初は、できるだけ経費をかけず、

荒廃田にならぬよう土地を守り、農業を継続発展させるべく、機械の共同利用・農地の集約・共同作業(播種・草刈り)の推進・担い手の育成等様々な対応をしてまいりました。まだまだ発展途上ではありますが、昨年度の実績では、水稻全面受託10畝・作業受託8畝(稲刈り)と徐々に作業量も増えており、転作について、スイートコーンやブロッコリーの栽培にも取り組み、年々面積も増やしつつ、収益の一端を担えるよう頑張っております。また、農閑期には、大沢



今年も夏の風物詩「そうめん流し」をお元気な大沢松寿会の皆様と行うことができました。今年度より「大沢っ子応援団」の事業の一つとして中学生ボランティアが参加しました。一段と活発になり、参加者には大変喜んでもらいました。猛暑



が続き、熱中症を心配していましたが、無事に終えることができました。大沢松寿会の皆様、大沢っ子応援団の皆様、本当に有難うございました。感謝いたします。 夏休み恒例の親子デイキャンプの行事名を今年より、「のびのび農園で遊ぼう」に変更しました。のびのび農園のご協力を得て、事前に草刈りをしてくださり、お心遣い本当に有難うございました。子どもたちは自然の中を楽しそうに元気に走り回っていました。また絵手紙作りの時間は、山田先生に教えていただき、素晴らしい作品に仕上げることができました。 斎藤 洋司

